

平成25年度（2013年度）施政方針

三 島 市

平成25年度当初予算案の提案にあたり、その大要をご説明申し上げますとともに、所信の一端を申し述べたいと存じます。

平成25年度は、市長に就任させていただき3年目となりますが、この間、三島市が発展し元気になり、市民の皆様が「三島で生まれて良かった」、「三島で育って良かった」、「三島で暮らして良かった」と、「幸せ」を実感できる誇れるまち三島を創りあげたいとの、強い思いで市政に取り組んでまいりました。

その基本方針に「ガーデンシティみしま(庭園都市みしま)」、「スマートウェルネスみしま(健幸都市みしま)」を掲げ、全国に誇れる湧水や緑、歴史と文化を共有する市民が主役になる中で、にぎわいと、美しく品格があり、市民もまちなも産業も健幸な都市の実現に向け、全力を傾注してまいりました。

おかげ様で、現在、これらの取り組みは徐々に成果となって表れてきているものと感じております。

市内外の皆様からも、「三島が明るくなった」、「美しくなった」と声を掛けて頂けるようになってまいりました。

また、市内をウォーキングやジョギングしている人も数多く見かけるようになり、子どもたちの活動が着実に実を結びつつあることを、実感しているところでございます。

これもひとえに、市議会はもとより、市民、自治会、事業者等のご理解とご協力のたまものと感謝いたしているところでございます。

新たに迎える平成25年度であります、「ガーデンシティみしま」や「スマートウェルネスみしま」の取り組みを、ハード・ソフト両面から、更に充実発展を図ってまいる考えであります。

また、このような取り組みとともに、三島の魅力を全国に余すことなくお伝えすることが重要と考えますので、インターネットをはじめとする各種情報提供ツールを総動員する中で、職員一人ひとりが広報マンという意識を持ち、皆様とともに、三島の魅力をリアルタイムで提供してまいりたいと考えておりま

す。

一方、現下の社会・経済情勢に目を転じてみますと、我が国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に、回復が期待されておりましたが、円高、原油の高騰、日中関係の悪化などから、長く低迷してまいりました。

これらから、昨年12月に発足した新政権の新たな経済対策への期待は非常に大きいものとなっておりますが、政権発足後間もないことから、その成果が表れるには、もうしばらく時間が必要ではないかと考えているところであります。

本市の新年度予算編成にあたりましては、その指針となる地方財政計画が明確に示されていなかったことなどから、国の政策や経済の動向等を見通すことが難しい中での予算編成となったところであります。

地方財政を総じて見てみますと、税金の落ち込みによる財源不足や社会保障費の増嵩、交付税の代替え措置としての臨時財政対策債の累積残高等、非常に厳しい状況となっており、今後の新政権における政策の具体化が大いに期待されているところであります。

このような中、本市の財政状況につきましては、実質公債費比率、将来負担比率等の財政健全化判断比率につきましては、既にご案内のとおり健全化基準を大きく下回り、その健全性が示されているところであります。

しかし、耐震補強事業にかかる借入の償還が本格的に始まり、今後、公共施設の長寿命化計画に則った改修事業も控えておりますので、市民の安全・安心を担保しつつ、行財政運営の効率化に努める中で、財政の健全性の確保を図っていく必要があると考えております。

平成25年度の歳入につきましては、市税においては、景気回復の遅れにより所得・雇用環境が依然として厳しく、企業収益もいまだ回復に至っていない状況と認識しております。

また、歳出につきましては、少子高齢化の進行や障害者福祉をはじめとする社会保障関係経費、子育て支援や教育環境の充実を図るための経費、市民ニ一

ズに的確に対応し、きめ細かな行政サービスを提供するための経費などが必要とされ、年々財政需要が大きくなってきている状況にあります。

このため今後は、より一層市民との協働を推進し、最少の経費で最大の効果が発揮される事業展開を図ってまいりたいと考えているところであります。

こうした背景から編成した平成25年度予算案であります。その基本となる方針を、

- 「ガーデンシティが織りなす、にぎわいと品格あるまちづくりの推進」
- 「健幸を実感できるスマートウェルネスの推進と豊かな心を育む教育・文化の充実」
- 「絆で結ばれた子育て・コミュニティ福祉の充実とみんなで築く災害に強いまちづくりの推進」

と定め、「第4次三島市総合計画」に定める将来都市像、「せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島」の実現とともに、さらに脱皮した三島を創造するための施策を積極的に予算に盛り込んだところであります。

以下、この三つの基本方針に沿いまして、主要な事務事業の概要をご説明申し上げます。

まず、「ガーデンシティが織りなす、にぎわいと品格あるまちづくりの推進」であります。

ガーデンシティみしまの推進につきましては、水と緑と文化そして歴史など、三島の誇れる財産に「花」を加え、住んでいる人も訪れる人も癒される、美しく品格のある、魅力溢れるまちづくりを更に進め、交流人口の増加を図り、観光をはじめ商業、産業の振興に繋げてまいります。

このため、平成25年度は、その基本となる「ガーデンシティみしまアクションプラン」を策定するとともに、行政、市民、NPO、事業者等の皆様との協働による、「花と緑に包まれた、うるおいのあるまちづくり」を推進してま

います。

とりわけ、花と緑と水辺環境の回遊性を高めるため、三島駅南口ロータリーと県道三島停車場^{じょう}線の花飾りの更なる充実を図るとともに、菰池公園に地下水を利用した噴水を設け親水公園として整備してまいります。

また、本年5月25、26日には、大通り商店街や楽寿園周辺を会場として、多くの団体と協働で開催する「三島花の街フェア」を支援してまいります。

さらに、美しいまち並みにふさわしい快適な環境づくりのため、三嶋大社駐車場トイレの改修を行なうとともに、市民や観光客がいつでもきれいなトイレをご利用頂けるよう清掃回数を増やしてまいります。

市内全域にわたってのガーデンシティの推進につきましては、ガーデンシティ三島推進会をはじめ市民の皆様や自治会などによる遊休地・休閑地の花壇化や緑化を促進するとともに、水田や畑においても、レンゲやマリーゴールドの植えつけを推進するほか、昨年の大場幼稚園園庭に続き、坂幼稚園園庭の芝生化を保護者のご協力を頂く中で実施してまいります。

そのほか、新たに市民となられる方々に、窓口で「花の種」を配布するとともに、引き続き、みどりまつりや花壇コンクール、緑と花の講習会等を開催し、緑化意識や緑化活動の普及啓発に努め、また、市民の皆様の活動を紹介するガーデンシティ・フォトコンテストを実施してまいります。

次に、街路整備であります。主要地方道三島停車場^{じょう}線の電線類地中化事業にあわせ、歩道の修景整備を行うとともに、引き続き、谷田幸原線建設事業、下土狩文教線建設事業などを計画的に推進してまいります。

また、一般市道の整備では、錦田大場線道路改良事業、西間門新谷線建設事業などのほか、自治会の要望箇所や市民ニーズを的確に把握する中で、緊急を要する市道整備を優先的に実施するとともに、今議会に別途提案しております、「三島市道路の構造の技術的基準を定める条例」に基づく、だれもが歩いて楽しい、歩きやすい歩道への改善と安全で快適な道路整備等に努めてまいります。

次に、公営住宅の整備であります。豊かな住生活の実現に向け、光ヶ丘住

宅B棟・C棟の改修工事を実施するほか、平成26年度着工予定のD棟改修工事に向けた実施設計を進めてまいります。

次に、農業基盤整備であります。引き続き県営担い手育成基盤整備事業により中郷地区の農地を整備するほか、八反畑、梅名、川原ヶ谷などの用排水路改良工事、農道笹原3号線改良工事、松毛川農道整備工事等を実施してまいります。

農業振興対策では、箱根西麓三島野菜のブランド化と6次産業化を一層推進するため、ホームページやPRパンフレット、ミニコミ誌等を活用した情報発信と販売促進活動を支援してまいります。

次に、企業立地推進事業であります。2月15日に内陸フロンティアの総合特区にも指定されましたので、企業誘致を積極的に進め、箱根西麓地区への新工業団地の整備計画などを推進してまいります。

商工業振興では、ファルマバレープロジェクト関連事業の推進を図るほか、農商エビジネスマッチング事業等を支援し、また、市内中小企業が自社製品やサービスをPRするための展示会や見本市への出展、商談会の開催等を支援してまいります。

次に、観光振興であります。三島の魅力は、何と言っても富士山の雪解け水が織りなす街中のせせらぎと、三嶋大社に代表される歴史、そして箱根西麓三島野菜やうなぎなどの食、さらにしゃぎりや農兵節など市内各地に伝わる伝統芸能があります。

魅力あるこれらの三島の財産を観光情報として積極的にPRし観光交流人口の増加を図るため、本市最大のイベントである「三島夏まつり」の充実、三島の特産品のブランド化や販売促進を図る特産品インターネット販売推進事業の実施、さらに、箱根西麓三島野菜のひとつである「山北印の三島甘藷」を新たな観光特産品とする地域特産品推進サポート事業や、ご当地グルメを集めた味しま食べ歩き事業「三島バル」の支援にも努めてまいります。

伊豆半島ジオパーク構想につきましては、三島市はその玄関口となります。

とから、三島市総合観光案内所にビジターセンターとしての機能の強化を図るほか、ジオパークの案内看板を設置してまいります。

山中城跡公園^{じょうあと}につきましては、四季折々の花木が楽しめる癒しの空間づくりの取り組みを始めるとともに、新たに進出する民間の観光施設と連携する中で、箱根西麓地区の観光活性化を図ってまいります。

次に、環境の保全及び啓蒙・啓発事業であります。東日本大震災の教訓や地球温暖化問題などから、新エネルギーへの転換はわが国の大きな課題となっております。

このため、一般家庭における新エネ対策を促進し、住宅用太陽光発電システムや住宅用太陽熱高度利用システムの設置を引き続き支援してまいります。

また、ごみの減量と資源化対策であります。平成24年度に策定した「ごみ処理施設の長寿命化計画」に基づき、3カ年計画で、ごみ処理施設の大規模改修を実施するとともに、一般廃棄物資源化事業では、新たに対象品目に加えた衣類の回収ステーションの拡充を進め、資源化率の向上を図ってまいります。

2つ目の柱、「健幸を実感できるスマートウエルネスの推進と豊かな心を育む教育・文化の充実」についてであります。

本市では、健康をまちづくりの中核に位置付け、地域の担い手である市民の皆様が、主体的に健康維持・社会参加する仕組みづくりを通じて、少子高齢社会^{つう}においても持続可能な都市に向って、なお一層の推進を図ってまいります。

その一環としまして、健康づくりや社会参加の取り組みにポイントを付与する“健幸”マイレージ事業を引き続き実施するとともに、誰もが運動やスポーツを楽しむことができる場と機会を提供するため、市民体育館に健康運動器具等を充実し、科学的根拠に基づいた健康運動教室を開催してまいります。

また、誰でも身近に手軽に運動ができるよう、富士山の景勝地である小沢茶臼山にウォーキングコースを整備するほか、市内ウォーキングモデルコースへの案内サインの設置、各種ウォーキングイベントの情報提供等を行って、更な

るウォーキングの普及を図ってまいります。

そのほか、新たな取り組みとして、健康づくりとまち歩きの支援を融合させ、スマートフォンなどに対応したアプリケーションを市民協働で企画・開発する「モバイルで健幸まち歩き事業」も実施してまいります。

次に、食育推進事業であります。平成24年度に策定する「第2次三島市食育基本計画」に基づき、産・官・学・民連携による食育先進都市を目指し、健康な体・豊かな心・食の安全安心・食文化・環境をテーマに三島市独自の取り組みを推進してまいります。

また、箱根西麓三島野菜を中心とした三島産の野菜などをPRする「農と食のおいしいフェスティバル」、食育と食の街みしまを全国にPRし、街中の^{まちなか}にぎわいと地場産業の活性化にも繋げる「三島フードフェスティバル」を支援するなど、食育と三島のおいしい食に関連する事業の更なる推進を図ってまいります。

周産期医療体制の確保では、安心して市内で子どもを産み育てることができるよう、三島社会保険病院が平成25年度から2カ年で計画しております周産期医療施設の整備に助成してまいります。

次に、教育・文化の充実であります。平成24年度に実施設計が完了した北上中学校柔剣道場の建設に着工し、平成26年度の完成を目指すほか、老朽化した東小学校プールの改修工事、各小・中学校における快適な教育環境づくりとして、学校図書室への扇風機の設置等を推進してまいります。

また、一人ひとりに目の行き届いたきめ細かな教育・指導が図られるよう、小学校低学年支援員配置事業、学校支援員配置事業、特別支援教育推進事業などを実施するほか、学校・家庭・地域が連携した、いじめ・不登校等への対応も行なってまいります。

次に、文化振興であります。平成27年度に（仮称）文化芸術振興基本計画の策定を目指し、平成25年度は、（仮称）文化芸術振興基本条例の制定を目指してまいります。

また、史跡公園の山中城跡^{じょうあと}では、堀や土塁の崩落が著しいため、3カ年計画で遺跡の全面的な修復を図り、本年11月にリニューアルオープンを予定する郷土資料館では、記念事業として特別講演会「古今伝授^{こきん}のまち三島」を開催するとともに、体験学習メニューを充実する中で、子どもや観光客等多くの方に楽しみながら三島の歴史・文化・自然を学んで頂けるよう、「みんなで楽しむ博物館」を開催していくこととしております。

さらに、市民文化会館施設整備事業では、施設の危険箇所や老朽化した設備の計画的な改修工事を実施し、箱根の里では、屋根や外壁の改修工事を実施してまいります。

3つ目の柱は、「絆で結ばれた子育て・コミュニティ福祉の充実とみんなで築く災害に強いまちづくりの推進」であります。

子育て支援の推進では、子ども・子育て支援策の総合的な計画「子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、平成25年度は、現在の子ども・子育て支援施策の評価とニーズ調査を実施してまいります。

また、子育てママを応援するため、ホームページを活用した保育情報の充実を図るとともに、新たに権限が移譲される未熟児養育医療事務や、引き続き実施する子ども医療費支給事業等により保護者の負担軽減を図り、特別保育委託事業では、病児保育が可能な医療機関を新たに追加し、保護者からのご要望に応えました。

次に、療育支援相談事業であります。発達に関して配慮が必要な子どもや保護者への支援体制を強化し、臨時保育士等を増員する中で、各種教室の開催、専門相談の充実など、きめ細かな支援に努めてまいります。

また、平成24年度から実施しております子育て理想郷事業では、三島市の子育ての取り組みを紹介するテレビ番組を制作・放映するほか、子育てに関する情報誌の作製・配布、地域の宝である子どもの誕生をお祝いする会の開催などを引き続き支援してまいります。

次に、障害者自立支援法が障害者総合支援法に改正され、新たに難病等が追加された障がい児者への支援であります。障がい者やその家族の生活を支援するとともに、障がい者の社会生活能力を高め、自立と社会参加を図るための就労支援を引き続き行ってまいります。

また、今後の施設整備モデルを作成するため、施設利用者や地域住民を対象として、障がい者施策総合支援事業に関するニーズ調査を行うほか、障害者施策の充実のため、生活介護事業所の拡充に向けて用地取得を実施してまいります。

次に、高齢者生きがい対策事業であります。平成26年度の「高齢者保健福祉計画」及び「介護保険事業計画」の策定に向け、平成25年度は、介護保険を利用していない高齢者や在宅の要支援・要介護認定者を対象に、実態調査を実施してまいります。

そのほか、養護老人ホーム佐野楽寿寮につきましては、平成26年度の完成を目指し大規模改修事業を実施してまいります。

次に、地震防災対策事業であります。郷土資料館の耐震補強事業をもちまして、学校をはじめとする公共施設の耐震補強事業は完了しますが、今後は、民間施設の一層の耐震化の推進が大きな課題となってまいります。

このため、平成25年度は、既存木造住宅耐震補強事業の補助限度額を10万円引き上げ、一般世帯50万円、高齢者世帯70万円として、耐震化率の向上を進めるほか、耐震補強事業に合わせて市内の施工業者に住宅リフォームを依頼した場合、その経費につきましても支援してまいります。

また、住宅の耐震化が困難な65歳以上の世帯への対応として、耐震シェルター設置事業も併せて実施してまいります。

次に、消防防災対策事業であります。通信指令業務の共同運用と消防無線のデジタル化に対応するため、三島市、裾野市及び長泉町の2市1町の共同により、消防通信指令センターの建設と通信指令システムの整備を行うため、平成27年度末の完成を目指し、平成25年度は、通信指令センターの庁舎建設

を実施してまいります。

また、地域の防災力強化のため、消防団第6分団の消防ポンプ自動車の更新を図るほか、交通安全対策につきましては、伊豆箱根鉄道が実施する、遮断機のない多呂地先「火の見踏切」への遮断機・警報機の設置を支援してまいります。

以上、三つの基本方針に従いまして概要を説明させていただきましたが、そのほかに、地域戦略事業では、内陸フロンティア関連事業への積極的な取り組みを推進するとともに、市内の美しい景観をはじめ、本市における「ガーデンシティみしま」と「スマートウエルネスみしま」の取り組み、そして市民のいきいきとした活動など三島の魅力を効果的に発信するため、PRテレビ番組を制作・放映するとともに、マスコットキャラクターの更なる活用を図り、戦略的、効果的な情報発信に努めてまいります。

また、市民活動の活性化を目指す協働のまちづくり推進事業では、地域を元気にする事業、新たな分野へのチャレンジ事業など、事業者を含む市民活動団体等の創意と工夫にあふれるまちづくり企画の提案や実践活動を支援してまいります。

一方、公共施設保全計画策定事業では、公共施設を最適な状態で運用しつつ、中長期的な視点で計画的に維持・修繕等を行い長寿命化を図る「ファシリティマネジメントシステム」を活用し、コストの縮減と歳出の平準化を図ることができるよう、平成25年度は保全計画の策定を進めてまいります。

さらに、雇用環境が依然として厳しい状況でありますので、引き続き、重点分野雇用創造事業を活用する中で、積極的な雇用対策に努めてまいります。

今後の社会経済情勢等、不透明で先行きが見えない状況ではありますが、未来に向けて三島市が力強く躍進するため、また、次世代に誇れる三島を引き継ぐためには、自然と歴史、文化に裏付けられた三島の魅力を、皆様とともに磨

きあげ、発信し、そのことにより市民も商店も企業も自信と誇りを持ち、みんなが元気になることが緊要であります。

このような考えのもと、新たな施策をきめ細かく平成25年度予算に盛り込んだところでありまして、私はこの予算を「三島のさらなる発展に向けた積極型予算」と考えております。

それでは、予算規模について申し上げます。

まず、一般会計の総額は338億7,100万円で、前年度当初予算額に比べ、9,100万円、0.3パーセントの増となっております。

また、国民健康保険特別会計など、八つの特別会計の予算額257億7,398万6千円を合わせた予算総額は596億4,498万6千円となり、前年度に比べ7億730万5千円、1.2パーセントの増となっております。

以下、先の三つの基本方針に加えて、「第4次三島市総合計画」に定めるまちづくりの大綱に沿いまして、一般会計予算案の大要を説明させていただきます。

第1は「安全・安心に暮らせるまち」であります。

はじめに「健康・福祉を育むまちづくり」についてであります。地域が支える福祉活動の推進では、地域福祉の推進役を担う三島市社会福祉協議会の運営基盤の強化と諸活動を支援するとともに、自治会をはじめ民生委員・児童委員・人権擁護委員などの福祉関係団体と連携を図り、地域の絆づくりを推進していくほか、新たに「三島市地域福祉計画」の検証・見直しを行い、安心して心豊かに暮らせるまちを目指してまいります。

安心できる医療体制の確保につきましては、引き続き三島市医師会メディカルセンターの協力を得る中で、休日・夜間等においても医療サービスを受ける

ことができる施設の確保や、沼津夜間救急医療センターをはじめとする広域の医師会で編成する医療体制の維持に努めてまいります。

次に、生涯を通じた健康づくりの推進であります。

まちづくり全体に「健幸」という視点を取り入れ、だれもが健やかに幸せを実感できるまちを目指す「スマートウェルネスみしま」の一環として、気軽に使える健康運動器具を南二日町グラウンドに設置してまいります。

健康の保持・増進では、健康診査や各種がん検診の対象年齢を拡大して制度の充実を図るとともに、新たに今議会にお諮りしております「三島市歯科口腔保健の推進に関する条例」に基づく取り組みや、三島市保健委員を中心とした健康相談会、健康づくり教室などを行う「健康づくり地区組織活動事業」の推進に努めてまいります。

健全な心身を育む食育活動の推進につきましては、新たに「大人の食育事業」への取り組みや安心・安全な地元の食材を取り入れた学校給食の充実など、すべての世代を対象とした食育事業を展開するとともに、食育認定店、健康づくり推進店の普及・拡大に取り組み、「食育先進都市」の先駆者として様々な施策を市民と協働で展開してまいります。

次に、子どもを産み育てやすい環境の整備であります。

保育需要の増加とニーズの多様化に 대응するため、時間延長保育、一時保育、病児・病後児保育の拡充を図るほか、「育メン教室」の開催など、男性の育児参加を奨励し、出生率の向上と子育て支援策を充実してまいります。

高齢者の生きがいと自立の支援であります。長い間社会に貢献されてきた退職後間もない方々の様々な経験と知識を地域や家庭に伝えていただく、「再デビュープロジェクト」による生きがいつくりの創出を支援していくほか、引き続き、気軽に悩みごとなどを相談できる高齢者くらし相談室の運営や、社会参加と自立を促進する高齢者バス等利用助成事業を実施し、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちを目指してまいります。

障害のある人を支える環境の充実につきましては、新たな障害福祉サービス

と地域生活支援事業の充実に努めるとともに、ゆずりあい駐車場制度や障がい者虐待防止の普及啓発に努め、地域の絆による障がい者の自立と社会参加の促進を図ってまいります。

また、生活保護につきましては、現在の社会経済情勢の下、生活保護費の受給者数の増加は当面続くものと思われませんが、国・県の指導に^{くに けん}沿い、適切な保護に努めるとともに、就労支援などによる自立を促進してまいります。

次に、「安全な暮らしを確保するまちづくり」であります。

危機管理体制の強化につきましては、東日本大震災の教訓を踏まえ大幅な見直しをした「地域防災計画」に基づき、地域の共助による自主防災組織を中心とした初期消火、避難誘導が実践できる体制の構築とともに、自主防災組織のリーダーとなる防災士の育成を支援してまいります。

自衛隊等の防災関係機関や協定を締結した自治体との間では、平常時から顔の見える関係を築くとともに、食料物資等の供給協定を締結した民間事業所とも、円滑な協力体制が確保できるよう連携強化を図ってまいります。

また、発災時に優先する緊急業務を職員がマニュアルとBCPに基づき行動できるようにするとともに、災害時に制限される人員、物資、情報などを有効活用できる体制を整えてまいります。

さらに、地震・水害対策の強化のため、避難所となる学校や防災センターに非常用食料など備蓄品の充実に努めてまいります。

消防・救急体制の強化につきましては、高度救命処置の行える救急救命士の養成など、消防職員の技術と知識の向上を図るとともに、消防団の資機材の充実や団員の全国大会派遣による地域消防組織の士気高揚と活性化に努めてまいります。

次に、交通安全の推進であります。交通事故発生危険箇所へカーブミラーなど安全施設の設置を推進するほか、高齢者が関連する事故が増加傾向にあり、運転に不安を感じている高齢者の自動車運転免許返納に、公共交通機関の利用助成券を支援し、交通事故の抑止に努めてまいります。

犯罪防止活動の推進につきましては、新たに今議会にお諮りしております「三島市防犯まちづくり条例」に基づき、自治会、警察と連携し、地域の絆を深めた防犯活動に努めるとともに、小学校新1年生を対象とした防犯教室や高齢者に対する防犯講習会を開催し、一層安全に安心して暮らせるまちを目指してまいります。

第2は「活力のある住みよいまち」であります。

まず、「活力ある産業が発達したまちづくり」についてであります。にぎわいある商業・商店街の振興では、「中心市街地活性化基本計画」に基づき、商店街の景観形成を推進するほか、大通り宿場まつり、一番町ホテルまつりなど、にぎわいを創出するイベントを支援するとともに、商店街の連続性を構築するため、空き店舗の解消にも努めてまいります。

魅力ある観光の推進につきましては、伊豆半島ジオパーク構想に沿った新たな観光資源の発掘に取り組むほか、駿豆線沿線地域活性化協議会、JR東海などと連携し、ガーデンシティによる花と緑と文化を提供する回遊性やスマートウエルネスによる街歩きコースの提供など、三島の魅力を伝える観光プログラムの発信に努め、戦略的に観光施策を展開してまいります。

特色ある特産品の創出と活用につきましては、箱根西麓三島野菜など、郷土色豊かな特産品の、フェイスブックを活用した通信販売サイトの開発や、首都圏の有名百貨店などからバイヤーを招く販売促進活動を支援してまいります。

次に、地域の特性を生かした農業の振興であります。農業の担い手となる青年就農者を支援し耕作放棄地の解消を図るとともに、環境保全型農業による安心・安全な農産物の生産を促進し、地産地消の一方、ブランド化の推進により全国に向け消費拡大を図り、地域農業の活性化に努めてまいります。

また、農業振興を推進する上で重要となる土地改良事業など、ハード整備にも計画的に取り組んでまいります。

企業誘致の推進についてであります。積極的な企業訪問活動による用地の

紹介や企業の情報収集を行うほか、引き続き、医療関連企業の市内への新たな進出に対して、家賃助成をしております。

良好な就労環境と雇用の確保につきましては、新たに女性就労を支援する専門窓口を開設し、雇用の促進に努めてまいります。

次に、「都市機能の整ったまちづくり」であります。

快適な市街地の形成では、「芝町通り周辺をまちづくり委員会」と連携し、電線類地中化工事の進む、芝町通りの歩道のグレードアップを図っております。

安全で円滑な道路網の整備につきましては、東駿河湾環状道路の全線開通に向けて、沿道地域のまちづくりを行う上で重要な役割を担う、都市計画道路網の整備を計画的に進めるとともに、見やすい道路標識の整備に努め、広域交通の円滑化と市街地の交通混雑の緩和を図っております。

次に、利用しやすい公共交通の充実では、引き続き公共交通空白地域と市内中心部を結ぶ自主運行バスを運行し、公共施設、商業施設などへのアクセス向上を図っております。

良質な住環境の形成につきましては、日の出町住宅や梅名西住宅の改修を図り、入居者の安全と快適な居住環境の確保に努めてまいります。

美しい景観の保全と形成についてであります。 「三島市景観計画」に基づき、本市が有する優れた自然・歴史・文化的景観の保全を推進してまいります。

第3は「環境を保全し人と文化を育むまち」であります。

まず、「環境を保全し継承するまちづくり」についてであります。地球温暖化防止活動の推進では、各世代にわたる環境リーダーの育成やエコパートナーの認定を推進するほか、市役所本庁舎玄関ホール及び消防署北分遣所への省エネ設備の導入を図り、低炭素型社会に向けたまちづくりにも取り組んでまいります。

循環型社会の形成につきましては、新たに一般家庭への「生ごみ段ボールコ

ンポスト」の設置普及を図るとともに、「ごみ処理に係る市民意識調査」を実施し、ごみの減量化を推進してまいります。

緑と水辺空間の保全と創出につきましては、美しい富士の眺望と湧水、心を癒す花と緑溢れる「庭園都市」の創造を市民と協働で推進し、さらなる郷土愛の高揚を図ってまいります。

また、市内全域にわたる街路樹や緑地の保全による緑の空間の維持に努めるとともに、夜間の市街地において「あかり」を演出し、にぎわいの創出と回遊性の向上に繋げてまいります。

健全な森林・水資源の保全であります。箱根西麓の森林は、良質な水を育む水源涵養と台風や集中豪雨による水害を未然に防止する重要な役割を果たしていることから、計画的な間伐や林道整備を実施してまいります。

次に、「学びと文化を育むまちづくり」であります。

豊かな人間性と確かな学力の向上につきましては、新たに制定された「三島市教育基本計画」に基づき、「心の教育」を重要課題とした道徳教育の充実や、一人ひとりの個性に応じたきめ細かな教育体制の構築に努めるほか、グリーンベルトの設置等による通学路の安全を図ってまいります。

青少年健全育成の推進であります。行動力と人を思いやる豊かな心を培うため交流体験や社会貢献活動への参加を促進するほか、引き続き、将来の三島を担うリーダーを育成する「若者元気塾」を開催してまいります。

生きがいとなる生涯学習の推進につきましては、本年4月に屋外自走式駐車場が供用開始される生涯学習センターでは、市民の教養文化や生活の向上を啓発・支援する発信拠点として、更に快適に活動できる施設の充実に努めるとともに、利用の拡大を図ってまいります。

図書館の充実では、書籍・雑誌に加えCD・DVDなど、視聴覚資料の充実を図り、教養と暮らしに役立つ情報提供に努めてまいります。

次に、誰もが楽しめる生涯スポーツの推進であります。

「スマートウエルネスみしま」の推進に向けたスポーツ環境の整備として、

長伏グラウンドの散水栓新設や錦田グラウンドの防球ネット増設など、快適な利用と安全確保を図るとともに、各種スポーツ団体と協働し、多くの市民がスポーツに関心を持ち参加できる環境づくりを目指してまいります。

郷土資源の継承と文化財の保全につきましては、新たに開設する向山古墳群公園の有効活用を図り、多くの市民の皆様の魅力ある郷土の歴史に親しんでいただくとともに、後世に向けた保全に努めてまいります。

多文化共生と国際交流活動の推進につきましては、中国・麗水市に公式訪問団の派遣を予定するとともに、ニュープリマス市からはスポーツウッド・カレッジ訪問団等の受入れを計画し、国際交流の充実を図ってまいります。

平和都市活動の推進につきましては、平和の尊さを再確認し、悲惨な戦争が再び起こらないことを心から願い、中学生の広島市平和祈念式典への派遣や平和活動団体への支援を実施してまいります。

第4は「協働で進める自立したまち」であります。

まず、連帯感のあるコミュニティの形成につきましては、地域における絆づくりの柱となる自治会活動や、その拠点となる集会所の整備、また、新たな地域の交流活動等を支援するほか、各小学校区で活躍するリーダーの育成を推進し、「地域づくり市民会議」の更なる発展を図ってまいります。

市民主体のまちづくりの推進では、市民から寄せられたご意見、女性の視点による問題解決方策、行政経営戦略会議や事業仕分け等の提言を市政に反映させるよう、協働のまちづくりをなお一層推進してまいります。

的確な広報・広聴活動の推進につきましては、「広報みしま」の掲載内容の充実を心がけるとともに、市民のライフスタイルの多様化に伴い、インターネットや携帯電話等のモバイル端末をはじめ、あらゆる情報媒体を活用した広報事業の充実に取り組んでまいります。

さらに、三島市の子育て、ガーデンシティ、スマートウエルネスなど、魅力溢れる施策がメディアにより発信されることは、市民の誇りと郷土愛の醸成の

みならず、定住人口の増加や交流人口の拡大、企業立地の推進などに繋がる大変有効な手段でありますので、戦略的な情報発信に努めてまいります。

以上、「第4次三島市総合計画」に定める施策の大綱に基づき、一般会計予算案の大要を申し上げます。

次は、特別会計であります。

まず、国民健康保険特別会計であります。被保険者の高齢化と医療の高度化により保険給付費が年々増加傾向にあり、国民健康保険財政は引き続き厳しい状況にあります。

本年度は、新たに積極的な健康づくりを推進する施策立案のため、国立保健医療科学院とともに医療費分析を行うほか、「スマートウエルネスみしま」による健康づくりの更なる推進を図り、治療から予防への自覚と行動を身につけていただくなど、医療費の抑制に繋げてまいります。

次に、介護保険特別会計であります。

要支援・要介護状態への進行を防止する介護予防事業を積極的に推進し、高齢者になっても、住み慣れた地域で元気に安心して暮らすことのできる環境づくりと、医療、介護、生活支援などの各サービスが、切れ目なく提供される地域包括ケア体制の強化を図ってまいります。

また、介護認定、保険料、サービス利用内容など介護保険相談窓口の充実にも努めてまいります。

次に、下水道事業特別会計であります。

下水道普及率の向上を図る施設整備を進めるとともに、広域避難所となる南小学校、南中学校に水洗機能を備えたマンホールトイレを設置してまいります。

また、新たに排水設備等の各種情報の一元化による下水道台帳の電子化に取り組むことにより、老朽管の計画的な改修や市民からの要望・相談への迅速な

対応に努めてまいります。

次に、楽寿園特別会計であります。

四季を通した花の飾りつけやライトアップ、イルミネーションなどを演出し、「ガーデンシティみしま」の拠点にふさわしい施設としての活用や、ウェルネス志向に配慮した癒しと快適な散策ができる庭園ゾーンの整備を進め、多くの来園者をお迎えできるよう施設の充実に努めてまいります。

また、企業や商店街とタイアップしたイベントの開催により、地域の活性化とにぎわいの創出を図ってまいります。

最後に、水道事業会計であります。

三島の大きな財産であります、おいしい水の将来にわたる安定供給を目指し、施設の耐震化と適切な維持管理に努めるとともに、設備の予防修繕と計画的な更新による長寿命化を図り、さらなる固定経費の削減に努めてまいります。

以上、平成25年度の一般会計及び特別会計の予算案につきまして、方針及び大要を申し上げます。

日本全体が長引く景気の低迷から必死に立ち上がろうとしている中、本市も「今何が必要で重要か」という考えの下、前例に捉われない柔軟な発想と果敢な行動力で、スピード感を持った市政運営が大切であると考えております。

私は、三島に生まれ、三島の自然と文化に親しみ、その恵みと実りに感謝しながら生きてまいりました。

皆様方と同様に、三島を愛する気持ちは誰にも負けないと自負しております。

三島に生まれて、三島で育って、三島に住んでよかったと一人でも多くの方に言っていただけるようなまちの創造に、チーム三島の職員と一丸となって、全身全霊を尽くして取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民の皆様方

のご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。